

# 「 さ さ え 」

2013年 1月発行 情報誌 第42号

発行 NPO福祉用具ネット事務局

住所: 福岡県田川市伊田4395(福岡県立大学内)

TEL/FAX: 0947-42-2286

E-mail [npo-fukusiyougunit@sage.ocn.ne.jp](mailto:npo-fukusiyougunit@sage.ocn.ne.jp)

HP <http://www10.ocn.ne.jp/~npofynet/enter.htm>

情報誌「ささえ」は年4回(1月・4月・7月・10月)発行しています。

印刷 よしみ工産(株) 北九州市戸畑区天神1丁目 13-5

**福祉用具はあなたの自立をささえます**

**あなたのささえがNPO福祉用具ネットを元気にします**

【商品名】 床ずれ防止用ハイブリッドマットレス  
「アルファフラ ソラ」

床ずれ防止には体圧分散+ケアが重要にもかかわらず、これまでのマットレスは体圧分散ばかりを求めていました。医療やテクノロジーの進化にともなって常識も進化します。これからは、ポジショニングや介助のしやすさ、ご利用者の QOL などを総合的に考慮したマットレスをお選びください。**アルファフラ ソラ**は安定性と寝心地の良さを持つ静止型マットレスをベースに、リスクの高い腰部には新方式のエアセルを搭載。双方の利点を兼ね備えた、ポジショニングなど最新のケアがしやすいこれからのマットレスです。【発売元】(株)タイカ



特定非営利活動法人  
**NPO福祉用具ネット**

「大切な芽を皆さんのやさしさに包まれながら育んでいきたい・・・」

本 NPO 法人設立 10 周年を顧みて

理事長 豊田謙二

1993年に「福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する法律」が施行される。2000年には「介護保険法」が施行され、福祉用具の活用が、住宅改修とともに保険給付として盛り込まれた。福祉用具が医療機器に替わって生活支援の道具と認められたわけである。

本 NPO 福祉用具ネット（以下、NPO 法人）が法人格を取得したのが2002年であった。すでに福祉用具研究会（以下、「研究会」）は定例会を軸に、福祉用具の活用事例に関して地道に、着々と知見を蓄積していた。福祉用具の啓発に向けて、研究の知見を「フォーラム」の開催で公開もしていた。福祉用具の研究の知見が、地域貢献の形で、さらに当事者に届くような開発が望まれていた。

当時私は、1996年から継続的に、ドイツにおける介護保険の現地調査を続けていた。そこで強く意識されたのが、「寝たきり」がないことであり、「社会的入院」が皆無である、という発見であった。と同時に、非営利組織たる「e.V」（＝登録社団）の福祉的・環境的活動に大きな刺激を受けていた。



デュッセルドルフ認知症ネット部局

わが国で、1998年に、いわゆる英語圏でいうところの「NPO 法」が制定された。NPO は、Non Profit Organization の略称なのだが、非営利団体であって、ボランティア団体でも、営利組織でもない。日本では理解するのが難しい団体である。私は「NPO 法人」の取得を研究会に提案した。現大山事務局長は、研究会の度に、NPO に関する膨大な資料を提供していた。重要なことは、「法人格」

の取得で契約が可能になり、収入のある事業を受託できる旨みを握れるのである。

「研究会」は継続しつつ、製品開発・販売事業の部門を NPO 法人に付属させることで、研究・開発・生産・支援を一連の過程としたのである。事前に県の窓口と相談しつつ申請したので、すんなりと認証されるはずであったが、物事は容易くはない。私がドイツ滞在中に当地に連絡が入り、NPO 事務局を県立大学構内に設置することに、県庁内で異論が生じた、というのだ。結局は、当時の総務部長・副知事を煩わせたのだが、大学と NPO は地域貢献に連携できる、という筋で折り合えたのである。



思い出がたくさん古いベビーカー

NPO 法人であることは、社会的信用を得ることであり、また団体の継続性が保証されることでもある。法人格を取得した後も、事業を順調に推進できているのは、病院の訪問看護ステーションの管理者、大山美智江看護師を抱えることができたからであり、その人事で前へ、と踏み込めたのであった。さらに、この NPO 法人に有能で多彩な専門職のかたが集結し、NPO と他の企業などのネットワークをつないできた。NPO は、ボランティア性もちながらも、こうして専門性を武器にして、個人々人への生活支援や、地域づくりへの貢献が可能になるのである。

今後、高齢化は単身化、女性化、そして認知症の人の増加を促す。従来個人々人を支えてきた「家」は、家族の依存に耐え得ない共同体に変質するであろう。「家」にこもることから逃走して、人と人のあいだに「social」を形成しなければならぬ。あいだの「家」を「social」に置き換えることである。

本 NPO 法人には、まだまだ大きな仕事が控えている。まずはこの10年、この法人を支えていただいたすべてのかたに対して、この場を借りて心よりの御礼を申し上げて、なお一層のご支援を賜りますよう、改めてお願い申し上げます。

シリーズ 福祉用具研究会の活動報告  
～15周年に向けて～  
第2回「研究会に感謝！」  
長谷川節子  
(田川市立病院PT)

「緩和ケアにおけるリハビリテーション」なんだか耳慣れない言葉ですよ。私が理学療法士になった頃は、緩和ケアという言葉すら一般的ではありませんでした。ましてや「痛みや苦痛を取り除き、その人らしい生き方を支える」ことが目標の緩和ケアの中で、「リハビリ」にはどんな役目があるのかと、思いませんか？おおざっぱにいうと、病院で行われるリハビリテーションは「機能回復訓練」が主体ですが、大きな目標は「生活の再建」であり、それはどのような患者さん・利用者さんにもあてはまるものです。ご存知のように日本人の2人に1人がガンになる時代です。治療法は進歩して、今やガンは直接的な死因ではなくなっています。私たちは病院での治療の場面にとどまらず、退院の支援や在宅の場でそんな方々に出会うことがふえるでしょう。

今年の私の課題の一つは、完治しない疾患を抱えながらもできるだけ苦痛を与えないでその人らしい生活をしていただくために私たちにできることは何か、その答えを見つけることでした。幸い、講習会や勉強会に参加し、少しずつみえてきたものがあります。結論は今までの「機能回復訓練」の概念は通用しないことでした。

前置きが長くなりましたが、そこで必要不可欠なのが「福祉用具」の知識です。できるだけ御本人に負担の少ない動作介助、横になる時間の長い方にとっては、ベッドの機能に加え、寝心地、もちろん車椅子の操作性や座り心地。それらはこの研究会で勉強させていただいたことばかり。こうやって知識はつながっていくのだと、この研究会に所属していることに感謝しています。もしも自分が痛みや倦怠感の強い中で、寝心地の悪いベッドに寝かされ、寝返りもできなかつたら？「自分でトイレに行けるようにリハビリをしましょう」という主治医に逆らえず、つらさをこらえながら筋力トレーニングをさせられたら？もちろん、やらなければならない辛い訓練もあるでしょう。しかし、私たちにどのような支援ができるのか見極め、環境の整備を考える視点を常に磨いていかなければなりません。多職種が集まって、議論し、最新の知識を身に付けることのできるこの研究会、これからもますますの充実の予感です。

シリーズ あきらめない生活改善！  
『道具・人・環境の工夫』  
第2回「意欲を取り戻す」  
井内陽三  
(あおぞらの里行橋訪問看護ステーションPT)

60代の男性Aさんは、四肢麻痺で自宅生活を送っていました。なんとか家族の介助で、日常生活も行えていましたが、自宅で転倒し骨折、入院。病院ではある程度の回復は図れていたのに、帰宅後動かなくなり、体力・活動意欲共に低下してしまっただけでした。

ご本人の口癖は、「俺はもうだめだ！」

そんな時に自宅に伺うことに。伺ってすぐに、「俺はもうだめだ！なんもできん」と、ベットから動くことに自信を失い、「俺はだめだ！」そこで、背上げ機能、手すりなどを使い起き上がるようにアドバイスすると、ご自身の試行錯誤で、起き上がりに成功。次に電動ベットにL字手すり設置。座面を高くして、「1・2の3」。起立動作が自力ででき、ご本人はびっくり！

「一人で歩かれん。俺はもうだめだ！」

ここで本命の目標である庭造りに挑戦！Aさんは、縁側に腰掛け庭を眺めるのが大のお気に入りです。両手に杖を持ち歩くと、数歩前に出ることが可能でした。練習を行うと、徐々に自信を持ち、介助で歩く練習に取り組むようになり、ついに縁側まで歩けるように。その後、介助で移動が可能となりました。

「どこにも行けない。俺はもうだめだ」

しかし、以前に見せた、硬い表情の発言ではなく、笑みがみられるように。外出の際に階段が多く、抱えてもらい外出していたため、段差解消機の提案を行いました。しかし、ご本人は「機械より、階段をつけよう」と、自室の掃出し窓から出るのに、階段をつけることを選択されました。その後、階段作成の住宅改修をされ、階段昇降の練習を行いさらに、自家用車を昇降しやすいものに変更し、花見だ、買い物だと外出するようになりました。

ある日、伺うと日当たりの良い縁側で、庭を眺めながら一服中。「おお、いらっしやい」と満面の笑みで迎えてくれました。こうして、以前のように家族の介助で過ごせるようになり、自宅で楽しみの時間も持てるようになりました。

この変化は1年程度要しました。今回の支援を通して、一人の方が新たな環境に慣れ、気持ちを切り替えるには、家族や支援者が十分に待つことも必要であると教えられた事例でした。

## 特集；ヘルパーさん、ねえ～、聞いて～！

NPO 福祉用具ネット情報誌「ささえ」編集委員会

介護保険のはじまるずっと以前から存在するヘルパーという仕事。利用者様に寄り添い、生活を支援するという業務は利用者様のことを最も理解しているたいへんな職種ではないかと思えます。その業務内容は多岐にわたり、さまざまな知識と技能が求められる中で精一杯お仕事されているヘルパーさんに対して、日頃、皆さんが感じていることをたずねてみました。

- ◇ 福祉用具の使用方法や構造を勉強してください。
- ◇ 誤った使用方法で利用者様を危険にさらしたり、福祉用具を壊してしまった方もいます。
- ◇ ベッドと車いす間を移乗する際は、面倒でもアームレスト（肘置き）の開閉を行ったり、フット・レッグサポート（足乗せ）を取り外すとより安全に楽に動作ができるので是非試してみてください。
- ◇ リフトやスライディングボードなど介護者の体を守る福祉機器もたくさんあるので一度は使ってみてください。
- ◇ 福祉用具についておかしいなと思ったり、質問があるときはぜひ、ケアマネージャーや福祉用具専門相談員に連絡してください。
- ◇ ベッドの下を掃除するときは面倒でも高さ調節機能を利用してごみを取り除いてください。また、コンセントを取り外したときは元通りにしないと動かないと苦情がきます。
- ◇ ベッドメイキングするときはエアアットのチューブが折れ曲がらないように注意してください。
- ◇ 歩行器や車いすのブレーキをかけずにおいていることがあるので注意してください。
- ◇ 抱える介護は利用者様にとってもヘルパーさんにとってもたいへんつらいものです。利用者様に一番身近なヘルパーさんが福祉用具の利用を提案できる視点をもってけるとありがたいです。
- ◇ 介護方法や福祉用具等について助言や提案をしてくださるのは助かるのですが、ご家族のやり方を否定したり、福祉用具を限定されたりするのは困ります。また福祉用具利用等を提案された場合は、その後のフォロー等を行いますので、ぜひケアマネージャーに連絡してほしいです。

### 福祉用具にかかわることについて



ヘルパーの業務にかかわることについて①

- ◆ 本人や家族には、ヘルパーさんを「お手伝いさんがわり」だと思っている方も多いと思います。私たちケアマネージャーも理解して頂けるように説明をしますので、ヘルパーさんもお手伝いさんのような仕事はしないでください。自分の仕事を守るためにも。
- ◆ 利用者様は、ヘルパーさんの訪問を楽しみにしている方も多く、利用者様の様子が一番分かるのはヘルパーさんだと思っています。その場の状況や個人に合わせた対応等して欲しいと思いますし、ケアマネージャーにとって、ヘルパーさんからの情報提供はたいへん貴重で価値あるものです。

- ◆ 各自でもう少し介護保険の理解をして頂きたいです。事業所の方針だからと、介護保険で出来ない事を知らずに行っている方もおられます。自分の資格を大切にしてほしいと思います。
- ◆ 数人のヘルパーさんがチームで1人の利用者様の方に支援をしていることが多いと思いますが、ヘルパーさんによって、同じケアの内容でも異なる場合もあり、そのことで利用者様が混乱したり、特定のヘルパーさんに過剰に依存することもあります。統一した対応・説明で支援していただければ助かります
- ◆ 次のヘルパーさんにきちんと伝えること、その方が仕事をしやすく、考えながら援助を行うとより質の高い援助ができるのではと思います。
- ◆ 疾患の増悪やケガ等により入院した際、介護認定の区分変更手続きについて、直接ご家族に話をするのは控えていただきたいです。ご家族等に直接提案する前に、事前にケアマネージャーへ報をいただくと、助かります。
- ◆ 認知症の方の自宅へ家事援助で入られているのであれば、その方の生活についてしっかり観察をし、ちゃんと生活できているかの確認をしてもらいたいです。
- ◆ ヘルパーさんは利用者様の状態変化を一番にキャッチできる立ち位置にいるのではないのでしょうか。単なる身体介護や生活援助のサービスを提供するだけでなく利用者様の自立（自律）支援の視点でプロ意識を持って仕事に臨む姿勢がほしいものです。そのためには当然スキルが必要となり、学ぶ姿勢のあるヘルパーさんはどんどん研修など参加されています。



- ヘルパー業務は、コミュニケーションを充分に取りながら、信頼関係を築き、利用者の自立に向けて支援を行う業務です。しかも在宅での一対一の支援であり、とても大変なものであります。そんな中でみなさんが、どのように大変なときでも前向きに、明るく利用者の笑顔を引き出して頑張っていらっしゃる姿に頭が下がる思いです。
- 「いつもとちがう」という利用者のささいな変化をキャッチし、適切に判断して救急車を要請し、一命をとりとめるなどのしっかりした方々がたくさんおられ頼もしいです。責任も重いでしょうが、対応の在り方で利用者の人生を大きく左右する大切な役割を担っていることを誇りに頑張ってください。
- 仲間を思いやる気持ちを大切にしていると、職場の人間関係もうまくなります。そうすると現場で辛い事や困った事があった時に、職場で癒され、家に帰る事が出来ます。
- 私は、この仕事も職場も好きです。ヘルパーの仕事はやりがいのある仕事だと思うので、皆さんも一緒に続けましょう
- 日々ヘルパーさんの業務を外から支える側として、いつも大変な仕事だと感じています。事務所で、一呼吸入れながら頑張ってください！



自分の仕事に誇りとやりがいを感じ、専門家として役割を果たす。すると利用者から笑顔と感謝を頂き、自分自身も笑顔になれるんですね。  
貴重なご意見をありがとうございました。

編集員一同より

## 今、思うこと。「福祉用具の開発に王道なし」

### (その32)

日立マクセル(株) 技師長 坂田 栄二

(NPO福祉用具ネット理事)

### 解決の目途はたったが

大山が、松原のシャワー試作品を初めて見て、付けた3つの注文項目のうちの2つは、目途が立った。

3つの注文項目とは、

(i)「ホースが顔の上を撫でまわし、気持ち悪いんじゃない？」

(ii)「水がもったいないから必要な時だけシャワーになるように止めたり出したり出来ないの？」

(iii)「終わった後、もっと簡単に収納できないの？」

である。(前号で紹介)

(i)の「ホースの顔撫で対策」は、シャワーヘッドを手のひらにすっぽり収まるサイズにすることで、ホースを自由に取回すことができるようになったことである。



(ii)の「自在切替コック」対策は、手のひらの中にコックが設けられたヘッドとすることで、ヘッドを握ったまま、入・切操作できる事で解決出来た。

この2つの課題に対しては、大山も満足していた。



### 簡単収納って何？

残りは、(iii)の「簡単収納」対策である。

ヘルパーさんは、訪問先で時間との勝負をしなければならないと言うが、松原は現場仕事の経験がなく、その課題の意味が理解できていない。松原は、これまでシャワーの使い方ばかり突き詰めてきた。シャンプー

の終わった後のことまで思いもしていなかった。そこで彼は知り合いの看護師やヘルパーさんに会うたびに、どんな作業をするのか、終わったあとの収納とはどんなことをしなければならないのか聞いた。

その結果、少なくとも次のことが理解できた。

大山の言う「簡単収納」とは、

①終わったあと、ポンプやホース内に残っている水抜きが簡単にできる事。水が残ったままでは、持ち運び時にポタポタと滴が垂れ、利用者の家の床を濡らしてしまったり、収納したキャリングケース内に水がこぼれる事が起きるために、水を抜く必要があるが、これを簡単に抜けるかということ。

②長いホースを、くるくる丸めて収納するのでは、時間がかかること。

③次の訪問先で、すぐに使えるように収納できること。

④ポンプとホースをつないだり外したりするのは、客先で時間を取られ面倒であること。

などであることが分かった。

### 矛盾する解決策

しかし、これらを同時に満足することは難しい。たとえば、①のポンプやホース内の水を抜くには、ポンプとホースの接続を外せば、それぞれから簡単に水抜きができるが、④のつないだり外したりしたくないことと矛盾することになる。

松原は、ずっと悩み続けた。他のメーカーのものを見ても、どれもホース内に水が残ってしまっている。

ある日、松原は、新しいポンプを使ってシャワーの試験をし終わったのちに、バケツからポンプとホースを引き上げると、中の水がザーッと流れ出たのに気付いた。“アレッ、何で水が出るんだ？”と思って、もう一度同じようにシャワー試験をしてみて、同じようにホースとポンプを引き上げたが今度は出ない。何故か？

なぜ、このポンプは水が抜けたり残ったりするのか？実はこれはシャワーヘッドのコックのせいだったのである。

試験をし終わった後、たいてい松原は几帳面にコックを止めてポンプを引き上げるのだが、この日のシャワー試験では、バケツの水が途中で無くなったので、シャワーが出なくなり、コックを閉めるのを忘れてポンプを引き上げた。その時ポンプから一気に水が流れ出たのである。

機械技術者の松原にとっては、実に当たり前のことだが、

“言われてみればその通りだ。なんで気付かなかったんだろう。”

### 簡単なポンプのおかげ！

実は、ポンプに原因があった。彼はそれまで、逆止弁付のポンプを使っていたがコストが高かったので、もっと

安い構造のポンプを、この日初めて使ってみた。このポンプは、逆止弁のない遠心ポンプで、構造はシンプルで壊れにくい。但し、揚程(水の押し高さ)は低いが、洗髪シャワーなら低くても十分だろうと、このポンプを選んだ。

この逆止弁が無いポンプでは、シャワーヘッドのコックが開くと、ヘッドからホース、ポンプまでが何の邪魔するものもなく繋がっているの、水は一気に上から下へ抜けることになる。

松原が、水抜き効果を意図せずに選んだ遠心ポンプが、偶然にも「簡単水抜き」を解決してくれた。おまけにこのおかげで、④のホースとポンプのつなぎ・外し作業が不要になった。これは矛盾の解決でもあった。

### バッグ屋のおかみさん

後は、②と③の収納方法である。

大山が求めているのは、どうやらバッグのような袋タイプであることが判ってきた。

松原は、近くの商店街のカバン屋さんに行って、「簡単に物が放り込めるようなバッグはないかい？」と、漠然とした使い道をその店のおかみさんに聞いてみた。

このかなり年配のおかみさんは、突然入ってきた初老男性の“このお客は何を欲しがっているのか”判らずに、店の中をうろろうしていたが、やがて所狭しと飾られているバッグを1つずつ棚から降ろして順番に説明し始めた。

お店には、他のお客は誰もいなくガランとしていたので、時間は十分にあるよでも言いたげに説明を進めていく。

しかし、松原は値段を見て驚いた。その値段はポンプやシャワーヘッドより高くなるものばかりだった。「いやー、そんなんじゃない、安くて簡単なのが良いよ。」

「何を入れるんですか？」

松原はどのように説明したら良いのか判らずに、しばらくして、「こんな、長いホースの付いたものなんだけど・・・」と、仕方なく、紙袋から試作品を取り出しておかみさんに見せた。まだ秘密だから見せたくはなかったけど、満足のいけるバッグが探せないと思い、どうしようもなく見せたのだった。それを見ても、おかみさんは深く尋ねることもなく、

「そうね・・・」

というなり、店の真ん中にあった椅子にどっかりと座わった。周りの棚のバッグを見上げながら、考え込んでいる。松原には、このおかみさんが何を考えているのか判らない。

“バッグに縁のなさそうな変な初老のお客？”

“安くて、そんな良いもんなんてないわ”

と思っているのかもしれない。

しばらく沈黙が続いた。松原は、どういう顔をしているのか戸惑い、紙袋を取り上げ次の店に行くしかないなと思い始めた。その一方で、でもこの近くでは、このバッグ屋さんが一番大きいんだから、他の店に行っても一緒だろうなと思ったが、意を決して店の表に向けて歩き始めた。

### 手作りのバッグ

その時、後ろから、

「お客さん！」

大きな声で呼び止められた。

「手作りなんだけど、見てみる？」

振り返ってみると、おかみさんはぶつぶつ言いながら足早に店の奥に戻っていった。

松原は、“どうせだめだろうな”と思いながらも、他に行くあてもなく引き返すことにした。

しばらくして、店の奥から派手な色をしたバッグを掲げて笑いながら、おかみさんが出てきた。

「他のお客さんから頼まれて、手作りで作ってみたけど、気に入ってもらえなくてそのままにしていたんだけど・・・」

と言いながら、下げ紐を左右に拡げて中を見せた。バッグの中は、仕切りも何もなくガランとしている。

「これだと、何でも入れられるよ。」

「布は頑丈だし、少々濡れてもすぐ乾くし・・・。」

「下げ紐は幅が広くて、手に食い込まないし。」

「たためばペタンコになるよ。」

おかみさんは、自分で作ったのか、隅々まで知りつくしており、このバッグの良いところは“ここだ！”とばかりに並べ立てる。

松原もだんだんその気になってきた。

“これでいけるかもしれないなー”



軽量、小型。バッグひとつで持ち運べます。

「すみませんが、しばらく貸してもらえませんか？」

松原は、面識もないのにいきなり申し入れた。松原は大山がこのバッグを見てどう反応するのか、意見を聞いてみたかったのだ。

さすがにおかみさんも、

「えっ、！」

と絶句した。(次号へつづく)

## 事務局だより

### 【10月から12月までの主な事務局のうごき】

10月6日 日本ケアサプライ福岡営業所  
10月15日 第6回福祉用具研究会  
10月20日 ゆとり介護④マッサージ講座  
10月21日 久留米と八女への事例3件訪問  
10月22日 飯塚市ケアマネヒヤリング調査  
11月5日別府リハビリテーションセンター研究会議  
11月14日第7回福祉用具研究会  
11月9日～11日西日本国際福祉機器展出展  
共同出展社(団体)は以下の通り  
ユニ・チャーム ヒューマンケア(株)・(株)タイ  
カ・東海ゴム工業(株)・ロボフューチャー(株)・  
龍宮(株)・三ツ和金属(株)・(株)ナリス化粧品・  
(有)三電・農協共済別府リハビリテーションセンタ  
ー・(株)福祉SDグループ・福岡県立大学福祉用具  
研究会  
3日間のセミナー内容は以下の通り  
11月9日  
11時～12時 心地よいオムツの当て方のポイント  
13時～14時 車いす・車いす用クッションの選び方  
14時10分～15時10分 自動排泄処理装置ヒューマ  
ニの活用法と上手な使い方  
15時30分～16時30分 歩行関連用具の選び方  
11月10日  
11時～12時 電動ベッドの使い方  
13時～14時 トランスファーボード・スライディン  
グシートの使い方  
14時10分～15時10分 リフトの選び方と使い方  
15時30分～16時30分  
ポジショニングクッションの使い方  
11月11日  
11時～12時 ポジショニングクッションの使い方  
13時～14時 摂食・嚥下障害のある方の介護のポイ  
ント  
14時10分～15時10分 高次脳機能障がい者の症状  
とその対応  
看護のキネステティクス®講座  
11月10日(土)・11日(日) 午前・午後2回  
福岡ひとにやさしい介助を考える会との共催  
高齢者の美容効果について  
ハンドマッサージ・アロマ・化粧などの視点から  
11月11日(日)11時～12時  
ナリス化粧品との共催  
基調講演と意見交換会  
退院(在宅復帰)に向けての住環境整備と  
福祉用具の選び方  
講師:渡邊慎一氏  
横浜市総合リハビリテーションセンター医療部理

学・作業療法課長。日本作業療法士会福祉用具部部  
長。元厚生労働省 老健局振興課 福祉用具・住宅改  
修指導官

11月11日(日)13時～15時  
FJC協会との共催事業  
福祉用具活用セミナー  
職種別「ヒューマニー」の活用講座  
11月9日(金)13時～14時 福祉用具専門相談員  
内容:ヒューマニーの適性判定とメンテナンス  
11月10日(土)11時～12時 介護職や家族介護者  
内容:ヒューマニーの上手な当て方  
11月11日(日)11時～12時 ケアマネージャー  
内容:ヒューマニーの対象者と活用事例  
11月16日 佐賀県立地域生活リハビリセンター&  
バリアフリーモデル住宅  
11月23日 ゆとり介護⑤メーキャップ講座  
11月27日 情報誌ささえ編集委員会  
12月8日 ゆとり介護⑥メーキャップ講座  
12月1日 NPO福祉用具ネット忘年会  
12月6日 ユニ・チャーム会議  
12月10日11日 東京出張 ユニ・チャーム ヒュ  
ーマンケア(株)会議  
12月17日19日 新潟出張 ヒューマニー研修会  
12月20日 別府リハビリテーションセンター研究  
会議  
12月22日 福岡市平成24年度老人保健健康増進等  
事業会議

### 福祉住環境コーディネーター協会の情報誌に掲載

(2012.Vol130)10月25日発行。『現場最前線 在宅介  
護をささえるために福祉用具と住環境整備の重要性  
を伝え続ける』と紹介されました。

### NPO福祉用具ネット設立11年目に向けて

11月1日にNPO福祉用具ネットは設立10周年を  
迎えました。お力添えをいただきました多くの皆様  
に心より御礼を申し上げます。

これまでの事業を振り返りつつ、今後の事業の計  
画を作成いたします。新しい年度に向けて、皆様か  
らのご要望やご意見をお聞きしたいと思います。  
事務局までご連絡下さいますようお願いいたします。

### 福祉用具研究会会員募集

25年4月から福祉用具研究会の活動を開始いたし  
ます。詳しくは事務局までお問い合わせください。  
新年度に向けて、会員の更新手続きを開始します。

### また、新年度の会員の募集を開始いたします。

事業年度は25年4月1日から26年3月31日

個人会員入会金	1000円
年会費	4000円
団体会員入会金	2000円
団体年会費	30000円